【昭和町】
校務 DX 計画

（１）自己点検を踏まえ、チェックリストに示されている課題や、その解決策

自己点検を踏まえ、下記のとおり課題解決に向け取り組んでいく。

○教員と保護者及び児童生徒間の連絡のデジタル化

メール配信システムを活用し、教員と保護者間の連絡を行っている。児童生徒の出欠連絡については一部の学校で電子アンケートにより実施している。デジタル化することにより、教職員、保護者両者にとって時間と場所に制約が少なくなるメリットがあるため、実施を推進していく。

教員と児童生徒間の連絡については、アンケート等のクラウドサービスを活用している学校が一部ある。また、長期休暇の際などにデジタルドリル教材を活用している学校が増えてきている。

教員と保護者及び児童生徒間の連絡のデジタル化について、各学校で差があるため、関係機関と連携し推進していく。

○学校内の連絡のデジタル化

全ての学校で職員間の情報共有にクラウドサービスを利用しており、今後も引き続き推進していく。

○FAX・押印の原則廃止への取組・ペーパーレス化への取組

不必要なＦＡＸ・押印がないよう関係各課と連携し、働きかけていく。

○校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃の取組

次世代の校務支援システムの導入とゼロトラスト化を計画しており、環境が変化することにより、不必要な手作業を一掃できるよう検討を進めていく。

（２）次世代の校務システムの導入に向けた検討について

次世代の校務支援システムの導入について、県及び県内市町村の共同調達により導入予定である。現状、ネットワーク分離環境であり（校務支援システム利用環境とネットワーク環境が分離されている環境）、校務 DX の推進が進まない１つの大きな要因となっていた。そのため、ゼロトラストへ移行する計画である。